

2016 年 2 月 29 日

株式会社北海道銀行
株式会社みずほ銀行
北海道ベンチャーキャピタル株式会社

6 次産業化ファンド「道銀アグリビジネスファンド」第 3 号案件 「株式会社御影バイオエナジー」への出資決定について

株式会社北海道銀行、株式会社みずほ銀行、A-FIVE（株式会社農林漁業成長産業化支援機構）、北海道ベンチャーキャピタル株式会社が 2013 年 4 月に設立した「道銀アグリビジネスファンド（以下「本ファンド」）〔運営者：北海道ベンチャーキャピタル株式会社〕」は、下記のとおり株式会社御影バイオエナジー（代表取締役 延與 雄一郎）に対して 1 億円の出資を行うことを決定いたしました。

本ファンドは今後とも、地域の 6 次産業化事業体への出資・経営支援を通じ、農林漁業の競争力を高め、政府が推し進める「地方創生」において、地域経済の活性化や雇用創出に積極的に取り組んでいきます。

記

〔出資概要〕

投 資 先 名	株式会社御影バイオエナジー	
代 表 者	代表取締役 延與 雄一郎	
所 在 地	北海道上川郡清水町熊牛 116	
設 立 日	2015 年 8 月 28 日（登記済）	
出 資 決 定 額	株式会社ノベルズ	100 百万円
	株式会社ノベルズデーリーファーム	20 百万円
	道銀アグリビジネスファンド	100 百万円
	上記合計：資本金 220 百万円	
事 業 内 容	・ 新会社(株)御影バイオエナジーは北海道上川郡清水町御影にバイオガスプラントを新設。 ・ 1 次事業者の(株)ノベルズデーリーファームおよび地元酪農事業者から畜産糞尿を受入し、バイオマス発電を行う。また、副産物である液肥販売を行う。	
事業ビジョン	・ 酪農事業において飼養頭数増加に伴い重荷となりうる糞尿対策として、バイオマス発電を行い販売することによる収入増加を狙う。また、そこから生産される消化液の有効利用により圃場の減肥や窒素対策を促し、地域の循環型農業に貢献する。	

以 上

〈ご参考：本ファンドのスキーム〉

